

東京損保鑑定株式会社

Tokyo Sonpo Kantei

2020.9.1

## 会社概要

社 名 東京損保鑑定株式会社

所在地

- ・ **本社:**東京都千代田区外神田 6-14-3 VORT末広町Ⅱ 4階  
TEL03(5817)3661 FAX03(5817)3660
- ・ **仙台支社:**仙台市青葉区中央 3-2-1 青葉通プラザ 13階  
TEL022(224)2811 FAX022(223)8765
- ・ **駿河台支社:**東京都千代田区神田駿河台 3-4-2  
日専連朝日生命ビル 3階  
TEL03(5298)5223 FAX03(5298)5233

創 立 1961年(昭和36年7月)

資本金 1500万円

役 員

- 代表取締役 藤得 牧 (一般社団法人 日本損害鑑定協会 副会長)
- 取 締 役 中村 豊
- 取 締 役 三沢 裕
- 監 査 役 山浦 英一

社 員

1級鑑定人	8名
2級鑑定人	15名
3級鑑定人	13名
経営企画部	1名
業 務 職	3名 (内1名は3級鑑定人)
ス タ ッ フ	5名
助 手	4名
合 計	48名 (3級と業務職の重複分除く)

## 技術コンサルタント

税理士(利益保険・店舗休業保険担当) 能見忠彦  
株式会社ストアームデザイン事務所(建築、意匠、土木) 伊藤大介

## 取引先

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社  
共栄火災海上保険株式会社  
損害保険ジャパン株式会社  
東京海上日動火災保険株式会社  
日新火災海上保険株式会社  
三井住友海上火災保険株式会社  
三井住友信託銀行  
その他国内外損害保険会社

一般社団法人 日本損害鑑定協会 所属

## 関連会社 Tokyo Sonpo Kantei (Thailand) Co., Ltd.

1 Glas Haus Building, 8<sup>th</sup> Floor, 802 Soi Sukhumvit 25,  
Sukhumvit Road, Klongtoey-Nua, Wattana, Bangkok, 10110  
Tel:+662-661-7966~8 Fax:+662-661-7905  
info@toson.co.th

## 損害保険鑑定のエキスパート集団

### それが東京損保鑑定です

火災・爆発・風水害・地震・漏水など、さまざまな災害は日々絶えず発生しており、決して他人事ではありません。

これらの災害により保険事故が発生した場合、適性の保険金が速やかに損害保険会社から支払われる為に、迅速・適正に保険事故内容を調査するのが、私ども損害保険鑑定人で、東京損保鑑定はその専門家集団です。

当社は社歴59年を有し日本の保険会社からも信頼を得ている業界でも老舗の鑑定事務所です。

## 企業理念（ミッションステートメント）

「私たちは確かな技術力に基づく高品質の鑑定業務を誠実に行い、皆様から信頼を得ることにより発展し続けます」

## 沿革

東京損保鑑定は昭和36年7月、損害保険鑑定人5名で株式会社三六社を千代田区神田司町に創立しました。翌昭和37年中央区八重洲に事務所を移転し、昭和56年に社名を東京損保鑑定株式会社と改め、平成10年12月に現在の千代田区外神田に本社を移転し現在に至っております。

## グループ会社

2014年3月タイ王国にグループ会社である Tokyo Sonpo Kantei (Thailand) Co., Ltd. を現地法人として設立。業界内で先駆けて海外事業に取り組んでおります。

## 損害保険鑑定人の仕事

損害保険会社は契約物件に火災や台風等で災害が発生した場合、その内容を調査し保険金を支払うことで失われた財物の価値を補填して、被害者の復興に資することを業務としております。

この損害の調査を保険会社から委嘱されその結果を鑑定レポート等で報告し、損害保険会社の保険金支払い業務を円滑に遂行することに資するのが損害保険鑑定人です。

## 損害鑑定

被害現場の立合い調査を中心として行います。

損害調査は、建築物、機械設備、商品一般、家財、その他、財物(被保険物件)を中心に広範多岐にわたります。このため、各分野の専門知識、経済、物価動向等を背景に保険価額と損害額を算定します。また、これらに附帯する業務として被保険者と損害調査内容についての話し合いや、事故状況・原因等の調査、修理業者、メーカー等との交渉等も行います。また、台風、地震、雪害、ひょう、集中豪雨、その他、大規模自然災害が発生した場合など被災地に入り現地調査をおこないます。

## 評価鑑定

あらかじめ適正な保険価額を算定した上で保険を付けることにより、保険事故発生時には円滑な保険金支払いが可能となります。また同時に無駄のない適正な保険料の支払いというメリットもあります。この適正な保険価額を算定することを目的に主に企業物件の各種ビル、工場、プラント施設、機械設備、商業施設、神社・仏閣等特殊建築物、等の保険価額をあらかじめ評価します。

## 損害保険鑑定人とは

損害保険鑑定人の発祥は1920年代後半と古く、その後1955年以降に鑑定人制度として整備され現在に至っております。

損害保険会社は契約物件に保険事故が発生した場合、それぞれの自社の損害調査体制を駆使して保険金の支払業務を行いますが、より円滑かつ適切にこれら一連の業務を進めるため損害保険鑑定人を委嘱、活用しております。

この損害保険鑑定人は一般社団法人日本損害保険協会に登録申請を行い、認定試験を経て登録されますが、技能ランクとして1級、2級、3級の3つのランクに分かれています。登録申請並びに認定試験は3級からスタートして2級、1級と昇級するシステムになっております。

## 取扱保険種目

- ・火災保険
- ・地震保険
- ・動産総合保険
- ・盗難保険
- ・機械保険
- ・組立保険
- ・建設工事保険
- ・土木工事保険
- ・賠償責任保険
- ・自動車対物賠償保険
- ・店舗休業保険
- ・利益保険
- ・その他各種損害保険

## 主な損害鑑定実績

阪神淡路大震災、 東日本大震災、 タイ洪水、 化学工場爆発、  
各種製造メーカーの工場火災事故、 その他

## 関係団体

- [一般社団法人 日本損害保険協会](#)
- [一般社団法人 外国損害保険協会](#)
- [一般社団法人 日本損害鑑定協会](#)